

経歴証明書

工事に係る申請者の実務経験の内容は、下記のとおりであることを証明します。

① 令和 1 年 12 月 1 日

証明者

② 事業所名 : 株式会社機械証明



⑤ 役職名 : 代表取締役社長

③ (事業者ID) : (XXXXXXXXXXXXXXXX)

⑥ 証明者名 : 証明 太郎



④ 所在地 : 東京都台東区東上野〇-〇-〇

申請者			
⑦フリガナ	キカイ ドコウ	職種 (技能者の呼称)	機械土工 技能者
⑧氏名	機械 土工		大分類14「運転手(特殊)」
⑨技能者ID	123456789101234-1		(01)「運転手(特殊)・建設機械運転工」 (06)「掘削機械運転工」

⑩ 経験年数					
就労期間①	平成20年12月	～	平成23年6月	就業年数①	2 年 7 ヶ月
就労期間②	平成25年2月	～	令和1年11月	就業年数②	6 年 10 ヶ月
就労期間③		～		就業年数③	年 ヶ月
経験年数合計					9 年 5 ヶ月

⑪ 経験年数(職長)					
就労期間①	平成23年3月	～	平成23年6月	就業年数①	0 年 4 ヶ月
就労期間②	平成30年11月	～	令和1年11月	就業年数②	1 年 1 ヶ月
就労期間③		～		就業年数③	年 ヶ月
職長としての経験年数合計					1 年 5 ヶ月

⑫ 経験年数(班長)					
就労期間①	平成28年12月	～	平成30年10月	就業年数①	1 年 11 ヶ月
就労期間②		～		就業年数②	年 ヶ月
就労期間③		～		就業年数③	年 ヶ月
班長としての経験年数合計					1 年 11 ヶ月

※就業期間は、建設技能者として就業開始した日の属する月から離職した日の属する月までの月数で計算。

(例) 就業期間：平成20年4月10日～平成30年5月25日 → 平成20年4月～平成30年5月 → 10年2ヶ月
転職や離職などによって建設業で就労していない期間がある場合は、就労していた期間ごとに、古い順に入力すること。

なお、最も古い就労期間の起算点は、建設業に関する資格、研修、表彰等を初めて取得した時期を入力すること。

誓約欄

この証明事項に事実と相違がある場合には、レベル判定を取り消されても異存のないことを誓約いたします。

⑬

申請者 (自署) 機械 土工



経歴証明書（様式2） 入力方法

- ① 作成日を和暦で入力してください。
数字は、半角数字で入力してください。
- ② 証明者の所属する事業署名を建設キャリアアップシステム登録名で入力してください。
会社印を捺印してください。
- ③ 建設キャリアアップシステムに登録している事業者IDを半角数字で入力してください。
- ④ 事業所の所在地を入力してください。
- ⑤ 証明者の役職を入力してください。
- ⑥ 証明者名を入力し、役職員もしくは代表印を捺印してください。
- ⑦ フリガナは全角カタカナで入力してください。
姓と名の間空白（スペース）を1文字入力してください。
- ⑧ 申請者の氏名を入力してください。
建設キャリアアップシステムに登録している文字で入力してください。
- ⑨ 技能者IDを半角数字で入力してください。
- ⑩ 経験年数は自動計算されます。
期間を西暦で入力してください。
数字は半角数字で入力してください。正しく入力されると、和暦で表示されます。
班長、職長の期間も含めた実務経験の年月を入力します。
(例) 平成20年12月 ⇒ 「2008/12」もしくは「2008年12月」
- ⑪ 経験年数（職長）は自動計算されます。
期間を西暦で入力してください。
数字は半角数字で入力してください。正しく入力されると、和暦で表示されます。
職長とは、職長又は職長の直近下位に配置され、複数の班を束ねる者をいいます。
(例) 平成20年12月 ⇒ 「2008/12」もしくは「2008年12月」
- ⑫ 経験年数（班長）は自動計算されます。
期間を西暦で入力してください。
数字は半角数字で入力してください。正しく入力されると、和暦で表示されます。
班長とは、職長以外の者であって、複数の班や技能者を束ねる者をいいます。
(例) 平成20年12月 ⇒ 「2008/12」もしくは「2008年12月」
- ⑬ 誓約書のサインは自署で記入します。
また、捺印が必要です。

建設業に関する資格、研修、表彰等を始めて取得した時期です。
最も古い就労期間の起算点は、キャリアアップシステムに登録された